



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月3日

上場会社名 株式会社 あみやき亭
 コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 千々和 康

TEL 0568-32-8800

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,783	4.6	779	8.4	804	8.2	509	2.3
29年3月期第1四半期	7,439	3.7	719	7.2	743	6.5	521	3.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 509百万円 (2.3%) 29年3月期第1四半期 521百万円 (3.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	74.34	
29年3月期第1四半期	76.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	23,298	19,132	82.1
29年3月期	23,304	18,965	81.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 19,132百万円 29年3月期 18,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		50.00		50.00	100.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,840	4.8	1,680	11.4	1,700	8.5	1,120	3.6	163.53
通期	32,000	4.7	3,210	9.2	3,250	6.4	2,170	0.3	316.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	6,848,800 株	29年3月期	6,848,800 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	株	29年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	6,848,800 株	29年3月期1Q	6,848,800 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調にあるものの、個人消費の回復は足踏み状況にあり、先行き不透明な状況となっております。

当業界におきましては、人手不足を主因とする人件費の上昇並びに消費者の強い節約志向などにより、引き続き極めて厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「お客様に喜んでいただき、選んでいただく店舗作り」を目指し、「食肉の専門集団」の強みであるカット技術を活かして、お客様にとって価値感・満足感のある商品を提供するなど他社との差別化を図り、また、人手不足対策と接客・サービス力向上を目指し、パート・アルバイトの「多能工化」への一層の取組を行うなど既存店の強化に努めてまいりました。

店舗数につきましては、新規出店4店舗(焼肉事業2店舗、その他事業2店舗)を加えた結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は246店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、7,783百万円(前年同期比4.6%増)、損益面につきましては、人件費関連コスト等販売費及び一般管理費が増加したものの、国産牛肉相場下落に伴う原材料費低下により営業利益779百万円(前年同期比8.4%増)、経常利益804百万円(前年同期比8.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益509百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、2店舗新規出店した結果、165店舗となりました。内訳は、あみやき亭109店舗、どんどん22店舗、かるび家4店舗、スエヒロ館16店舗、ほるとん屋9店舗、ブラックホール4店舗、島津1店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」を提供するなど、既存店強化に努めてまいりました。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「スエヒロ」ブランドの知名度と「食肉の専門集団」である強みを活かした和牛商品を「チェーン店価格」で提供するなどグループシナジーを発揮した展開をしております。

また、株式会社アクトグループが経営する焼肉業態へ当社より焼肉食材を供給し、一層の品質向上に努めてまいりました。

以上の結果、焼肉事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、5,917百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、56店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。

焼鳥事業におきまして、焼きの技術向上に努め、「美味しくて、安い」焼鳥や釜めしの提供に努めてまいりました。

以上の結果、焼鳥事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、936百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、2店舗新規出店した結果25店舗であります。

内訳は、当社が経営するレストランの「ハンバーグ&ステーキレストランあみやき亭」1店舗、株式会社スエヒロレストランシステムが経営するレストランの「スエヒロ館」11店舗、居酒屋「楽市」3店舗と株式会社アクトグループが経営する寿司業態の「すしまみれ」6店舗、ダイニング3店舗、イタリアンレストラン1店舗であります。

「ハンバーグ&ステーキレストランあみやき亭」は、美味しい国産牛のステーキ、ハンバーグをお値打ち価格にてご提供する本格的ディナーレストランを目指しており、今後、中部地区においてドミナント展開を行ってまいります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、スエヒロブランドを活かしつつ「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした「100%国産牛ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引続き品質の向上に努めてまいりました。

居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

株式会社アクトグループでは、経営する寿司業態、ダイニング業態、イタリアン業態とも快適な空間で食事を楽しんで頂くことを目指しております。また、寿司業態では各店舗で行っている鮮魚の仕入およびカットをセントラルキッチンに一部移行するなど業務の効率化並びにコストダウンを図っております。

以上の結果、その他の事業の当第1四半期連結会計期間の売上高は931百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

なお、各事業への売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、23,298百万円となり、前連結会計年度末と比較し、6百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少によるものです。

負債総額は、4,166百万円となり、前連結会計年度末と比較し、172百万円減少いたしました。

主な要因は未払法人税等の減少によるものであります。

純資産総額は、19,132百万円となり、前連結会計年度末と比較し、166百万円増加いたしました。

主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年4月3日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,084	9,571
預け金	92	108
売掛金	3	3
商品及び製品	69	67
原材料及び貯蔵品	226	275
繰延税金資産	129	125
その他	399	470
流動資産合計	11,004	10,623
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,619	5,688
構築物(純額)	319	333
機械及び装置(純額)	252	270
車両運搬具(純額)	13	6
工具、器具及び備品(純額)	234	221
土地	1,592	2,232
建設仮勘定	78	96
有形固定資産合計	8,109	8,848
無形固定資産		
ソフトウェア	7	6
のれん	543	532
その他	49	60
無形固定資産合計	600	599
投資その他の資産		
投資有価証券	5	5
長期貸付金	322	314
繰延税金資産	476	481
差入保証金	1,434	1,438
投資不動産	681	312
その他	668	673
投資その他の資産合計	3,589	3,226
固定資産合計	12,299	12,675
資産合計	23,304	23,298

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,144	1,019
未払金及び未払費用	1,233	1,122
未払法人税等	478	316
賞与引当金	133	228
役員賞与引当金	—	7
株主優待引当金	3	14
ポイント引当金	43	45
その他	502	610
流動負債合計	3,538	3,364
固定負債		
繰延税金負債	8	8
資産除去債務	379	386
その他	411	406
固定負債合計	800	801
負債合計	4,339	4,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	14,064	14,231
株主資本合計	18,965	19,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	18,965	19,132
負債純資産合計	23,304	23,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,439	7,783
売上原価	2,767	2,877
売上総利益	4,671	4,906
販売費及び一般管理費	3,952	4,126
営業利益	719	779
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	0	0
受取賃貸料	1	8
協賛金収入	19	13
その他	1	1
営業外収益合計	25	25
営業外費用		
不動産賃貸費用	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	743	804
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	1	16
特別損失合計	1	16
税金等調整前四半期純利益	742	789
法人税、住民税及び事業税	225	281
法人税等調整額	△4	△1
法人税等合計	221	279
四半期純利益	521	509
親会社株主に帰属する四半期純利益	521	509

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	521	509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	521	509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521	509

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。